



学校だより No.14

☆通知表について ～ 道徳の評価等も含めて ～

日頃より、あずま中の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。
本日で1学期が終了します。2学期は、8月26日(月)から始まります。勉強塾や部活動、登校日など、学校に来る機会はたくさんありますが、今日が一つの大きな節目です。
通知表には、評定(54321)、担任による所見、出欠席の状況、表彰関係の記録等が示してあります。

各教科の「評定」は、授業態度・課題等の提出物・定期テスト・豆テスト等を総合的に判断しています。定期テストの成績のみで「評定」はつけません。日々の様々な取組を、総合的に判断した結果とお考えください。

「所見」は日頃の学校生活での頑張りや課題をお伝えするためにまとめてあります。

「評定」や「所見」が2学期以降に生かされるよう、ぜひ、お子さんを励ましてください。よろしく願いいたします。



さて、今年度から「**特別の教科 道徳**」が実施されています。本校では文部科学省の教科化に先立ち、一昨年から「道徳」を校内研修に位置付けて研究に取り組んでいます。

「教科」になることで、道徳の内容が今までと大きく変わることはありません。人が成長していく上で大切なことを学ぶことに変わりはないのですが、2点ほど変わるところがあります。一つは「指定された教科書を使うこと」、もう一つは「**評価すること**」です。

特に「評価」については、文部科学省から出されている「学習指導要領」の中に、次のように示されています。

生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かすように努める必要がある。ただし、**数値などによる評価は行わないものとする。**

これは「道徳」の評価を行わないということではなく、「数値で表すことは適切ではない」ということを示したものです。

また、文部科学省は「評価する上で大切な点」を次のように示しています。

◎他者の考え方や議論に触れ、自律的に思考する中で、一面的な見方から**多面的・多角的な見方**へと発展しているか

◎多面的・多角的な思考の中で、道徳的価値の理解を**自分自身との関わり**の中で深めているか



上記の2点に留意しながら道徳の評価を行っていきたいと考えていますが、1学期については、「道徳的価値について考えている様子」や「友人の意見を聞いて考えを深めたり、自分の考えを伝えたりしている姿」など、授業に取り組む様子や授業中に見られる姿を中心にお伝えしたいと考えています。

これからも生徒のより豊かな心の成長のため、職員一同がんばりますので、ご支援よろしく願いいたします。

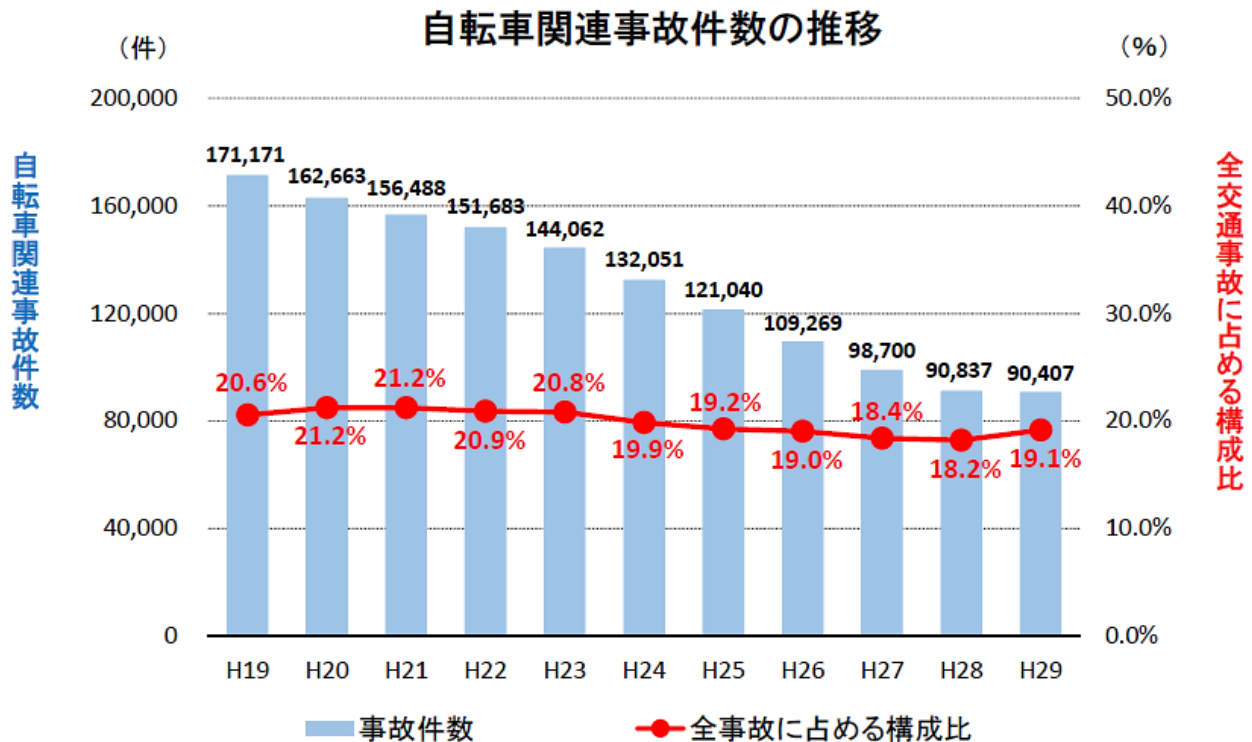
☆夏休みに気を付けたいこと

7月20日（土）から8月25日（日）まで37日間にわたる夏休みが始まります。皆さんが大きなケガや病気をせず、始業式に元気な姿を見せてくれることを願っています。

さて、夏休みは熱中症や交通事故、スマホやSNSにかかわるトラブルなど、心配なことがたくさんあります。特に交通事故については十分注意してほしいと思っています。

平成29年に「自転車の安全利用促進委員会」が発表した都道府県別の1万人当たりの自転車通学時の事故件数ランキングで、群馬の高校生の件数がワースト1位となりました。委員会がランキング結果を発表するようになった平成26年以来4年連続です。

一方、平成28年まで3年連続ワースト1位だった群馬の中学生の自転車通学時の事故件数は2位でした。いずれにしても、群馬県は全国で自転車事故件数がトップクラスであることに間違いありません。



上の図の棒グラフは自転車に関係する事故件数です。年々減っているように見えます。折れ線グラフは、自動車などを含めた全ての交通事故のうち、自転車事故が占める割合です。全体的に交通事故自体は減っていますが、自転車事故の割合は10年経（た）っても変わりません。つまり、毎日起こっている事故の約20%は必ず自転車関係の事故だということです。事故に巻き込まれる可能性は誰にでもあるのです。



また、スマホやパソコン等の使い方が心配な生徒も見受けられます。ご家庭で保護者の皆さんの目が届いているときや学校で教員が指導しているときは大丈夫だと思いますが、遊びに出かけたときや部屋にこもってゲームやSNS等を行っているときなどに、事故や事件に巻き込まれることが無いとも言えません。お子さんの日々の行動の予定等について、ご家庭で話し合っ、きちんと把握していただくとありがたいです。

8月26日（月）の始業式は、全校生徒の皆さんが笑顔で登校できることを楽しみにしています。

大きな声の「おはようございます！」と全力の校歌を期待しています。

